

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Apple Junior 淵野辺教室（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年3月15日 ～ 2025年4月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数)	17人
○従業者評価実施期間	2025年3月15日 ～ 2025年4月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団プログラムなど療育自体	子供たちが興味深く参加できるプログラムなど、 スタッフの間で日々検討を行っている。	特に新しいスタッフに対する OJTや研修など療育の質を高める取り組みが必要。
2	スタッフの習熟度	さまざまな理由でスタッフが変更になることがあるが、 主軸となるスタッフが横山台に異動することにより、 全体的にレベルが上がってきている。	これまではスタッフの異動・退職が多かったが、今後は メンバーを変更せず、運営を安定させていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部連携全般（病院、地域住民・地域子ども）	地域との連携がまだ弱く、 外部＝自己完結しない取り組みは不足している。	今年度はスタッフの入れ替えが多く、 新しい取り組みがなかなかできなかった。 体制面の課題が解決した為、来期は取り組んで行きたい。
2	非常時の対応に関する評価が低い	非常食の充実など必要な課題はあるが取り組み自体は 実施している。情報開示・伝え方なども弱く、 正しく理解されていない部分も大きい。	非常時の対応について、定期的な情報共有、教室内掲示、 集団プログラムの実施回数増加など情報伝達に 努める必要がある。
3			